

【戦うオヤジの応援団 2016 年度状況報告と収支報告】

■状況報告

2016 年度も昨年同様、事務局としては新たな方向性を持った活動は行っておらず、全国の活動拠点である S P の活動状況を紹介するために練習会や交流会の情報を発信することと、個人メンバーに対する日常的業務を継続していくことで、メンバー同士のネットワーク維持に重点を置いた活動となりました。

2017 年 4 月現在で、実施頻度は異なっても定期的な活動を継続している S P は、北海道札幌市、群馬県高崎市、千葉県千葉市、千葉県柏市、千葉県浦安市、埼玉県川口市、埼玉県春日部市、東京都国立市<三多摩>、東京都新宿区、東京都文京区、東京都港区、神奈川県横浜市、長野県飯田市、静岡県富士宮市、静岡県静岡市、岐阜県各務原市、愛知県春日井市、愛知県安城市、大阪府吹田市、大阪府貝塚市、大阪市西区、兵庫県丹波市、兵庫県西宮市、兵庫県神戸市、香川県高松市、愛媛県松山市、福岡県福岡市、沖縄県那覇市の 28 ヲ所。S P としての活動を休止中のものが静岡県伊豆の国市、京都府京都市の 2 ヲ所 となっています。

2016 年 4 月～2017 年 3 月の間に新たにメンバー登録をいただいた皆さんは 69 名（前年度は 86 名）で、3 月末時点の登録メンバーは 2065 名ですが、メールマガジン送信システムのレポートによると、2065 名の登録メンバーのうち、メールが届いていると思われるのは 1524 名（73.8%）で、541 名は登録時以降のメールアドレス変更などによりメールでの連絡がとれない状況です。

また、2016 年度に正会員として登録・更新をいただき、年会費のお支払いをいただいた方は、登録メンバーの 11.3%（前年度は 14%）、233 名（前年度は 281 名）となっています。

■収支報告（別紙報告書の解説）

- ・ 2016 年度の総収入は 106 万 5910 円、総支出が 138 万 8633 円で、単年度では 32 万 2723 円の赤字となりましたが、過去の利益の繰り越しである 50 万 8488 円を加えると通算で 18 万 5765 円の黒字を維持しています。借入金返済を 3 万円行った後、2017 年度へは 15 万 5765 円の利益繰り越しを行います。
- ・ 支出に占める割合では、お茶ノ水事務所の家賃に水道料金・電気料金・電話料金を含めた事務所維持費用が 95.5%（昨年は 95.2%）と、大半を占めています。
- ・ 2016 年 10 月より、メンバーの皆さんに一斉メールを送る際に、「お名前.com」のメールマーケティングシステムを利用しており、毎月 1944 円の支出が発生しています。これまで、nifty では迷惑メール防止のためのメール発信制限がある影響で、2000 名程度の登録メンバーにメールマガジンを送付する作業に 4 時間程度かかっていたものが数分で終わるようになりましたので、必要に応じて、積極的な情報発信を実施してまいります。
- ・ 2016 年度も事務局として地域の S P 訪問は行っていないため、交通費支出はありません。
- ・ 2016 年度は収益事業はほとんど行っていないため、収入は、正会員・賛助会員の年会費と寄付が大半となります。なお、ナスカギターケースについては、納期に半年以上かかる上に大幅な値上げとなったため、事務局での取次は行わないことにいたしました。
- ・ 過去に年会費を納めていただき、現在も会費以外で応援していただいている法人賛助会員の皆さんは、お礼の意味もあってその後もホームページにバナーを掲載させていただいていますが、2016 年度に正規の年会費（25000 円）のご支援をいただいた法人賛助会員は 6 社となっています。